

平成29年度における 子ども未来部の主な取り組みについて

- (1) 認定こども園等の新設・施設整備・保育所定員の拡充について
- (2) 子育て世代包括支援センター事業等の実施について

(1) 認定こども園等の新設・施設整備・保育所定員の拡充について

年度途中から待機児童が増加する市内中心部に施設を新設するとともに、保育定員増や児童の処遇改善を図るため、保育所及び認定こども園の改築等に対して整備費を補助する

< 取り組みの内容 >

① 市内中心部に、認定こども園（又は保育所）を新設（1施設、新設）

（整備内容） 予算は認定こども園整備を基準とした（保育80名、教育20名、計100名）
市内中心部に設置する施設建物の新築整備に対し補助を実施

② 保育定員増や児童の処遇改善を図るため、既存施設の改築、大規模修繕を実施（拡充）

（整備内容） (1) 相浦幼稚園（施設内外の大規模修繕、保育設備追加により保育定員20名増）
(2) 九州文化学園幼稚園（調理室及び0歳児室増築、保育室改修により保育定員10名増）
(3) 東明幼稚園（施設老朽化等に伴う改築、保育定員5名増）

③ 防犯カメラ等未設置の施設を対象に、防犯対策補助を実施（新規）

（整備内容） (1) 門扉・フェンス等外構整備（2施設）
(2) 非常通報装置・防犯カメラ等設置（10施設）

(2) 子育て世代包括支援センター事業等の実施について

妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を実施することで、子育て世代が安心して子どもを産み育てることができる環境の充実を目指す

< 取り組みの内容（平成29年度新規） >

① 子育て世代包括支援センター事業を実施

子ども保健課内に母子保健コーディネーター 1 名（助産師をイメージ）を配置し、相談支援等を実施

- ① 妊娠期から子育て期にわたる母子保健や子育ての悩みに対応
- ② すべての妊産婦の状況を継続的に把握し、切れ目のない支援につなげる

② 妊娠・出産包括支援事業を実施

妊産婦等に対して産前産後のサポート（ケア）を実施

(1) ママサポーター（助産師をイメージ）による産前産後のサポート

ママサポーターが妊産婦の気軽な話し相手として相談支援を実施

(2) 産後ケア

助産師や産婦人科による訪問ケア・デイケア・ショートステイ等の実施

ケアの種類	利用見込み	利用料金（自己負担額）
① 訪問ケア	延750回程度の利用を想定	5,000円（1,000円）
② デイケア（3時間まで）	延600回程度の利用を想定	6,000円（1,200円）
③ デイケア（7時間まで）	延200回程度の利用を想定	12,000円（2,400円）
④ ショートステイ	延50回程度の利用を想定	15,000円以上（3,000円以上）

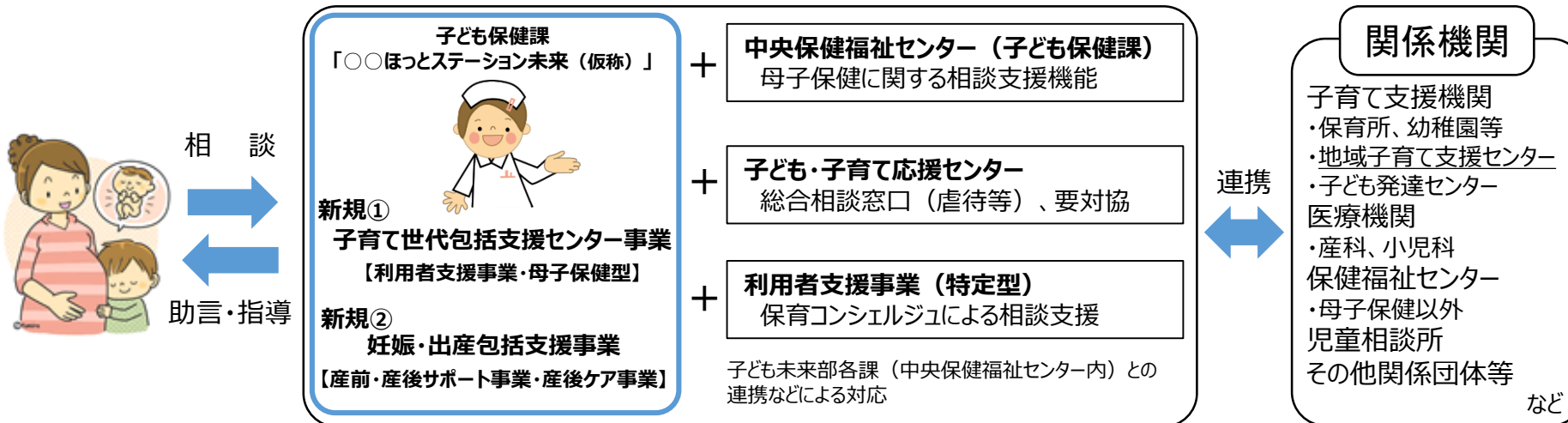
佐世保市における妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の事業イメージ

【事業イメージ】

- ・子ども未来部子ども保健課内において、子育て世代包括支援センター事業と妊娠・出産包括支援事業に係る個別の相談場所を「〇〇ほっとステーション未来（仮称）」という名称で開設する
- ・すこやかプラザにおける母子保健機能や子ども子育て応援センターにおける総合相談窓口機能、すこやかプラザ内で実施する利用者支援事業（特定型）と一体となった対応を図るほか、すこやかプラザ内の関係課との連携等により、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行う



佐世保市における妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援の実施



	妊娠前	妊娠期	出産	産後	育児
思春期の子ども対策		新規① 子育て世代包括支援センター事業 （母子保健コーディネーターによる専門性を活かした妊娠期から子育て期にわたる母子保健や子育ての相談支援）			
不妊治療等支援		新規②-1 産前・産後サポート事業 （ママサポーターによる「身近な話し相手」としての相談支援）		乳児家庭全戸訪問事業	子ども・子育て支援施策 ・保育所、幼稚園、認定こども園 ・地域子育て支援センター ・一時預かり事業、病児保育事業 ・ファミリーサポートセンター事業 ・ショートステイ、トワイライトステイ事業（ほか）
	妊婦健診	新規②-2 産後ケア事業 （訪問ケア、デイケア等による心身のケア、育児サポート）	養育支援訪問事業	乳幼児健康診査 予防接種 など	
		母親学級 プレパパ学級	産科連携 保健師訪問		